



その 239

クローズアップ21

基本は9Hプレー、ドレスコードなし 茅ヶ崎ゴルフ倶楽部

日本一カジュアル、フレキシブルなゴルフ場を目指す

今年5月7日、(株)ゴルフデザイン・エスト・オンライン（GDO、石坂信也社長）の運営で、茅ヶ崎ゴルフ倶楽部（9ホール、神奈川県茅ヶ崎市菱沼海岸9-38）の営業がスタートした。GDOは、日本最大級のゴルフポータルサイトで、ゴルフ場予約などゴルフに関わるサービスを総合的に展開しているが、ゴルフ場運営はこれが初めてである。長引く景気低迷やゴルフ場入場者の減少と逆風が吹き荒れる中で、日本一カジュアル、フレキシブルなゴルフ場を目指すGDOのゴルフ場運営を手掛けようとした原動力は何か。また、どういう運営を行っていくのか。

きっかけはGDOベース 決め手は9ホール、茅ヶ崎

茅ヶ崎ゴルフ倶楽部は、新湘南バイパス・茅ヶ崎海岸ICから車で約7分、電車経由だとJR茅ヶ崎駅から茅ヶ崎市コミュニティバスを使って約10分（運賃は片道200円）の位置にある。住宅地と国道134号線に挟まれ、菱沼海岸にも至近の用地に「東の井上、西の上田」で知られる上田治氏がコース設計を担当し、1957（昭

和32）年にオープンした。オープンから11年後に市営から観光日本による運営に代わり長らく営業してきた。しかし、2000年代に入り、地主（神奈川県、茅ヶ崎協同(株)）と賃貸借契約を結ぶ運営会社との間で地代変更（賃貸料値上げ）問題が表面化し、観光日本が運営から撤退、ゴルフ場の存続すら危ぶまれる事態となった。そこで、神奈川県では、2016（平成28）年に「茅ヶ崎ゴルフ場の利活用基本方針」を策定、利活用事業の事業者の公募を開始した。

「ちょうどその頃、GDOでは幹部研修で、GDOが未来に向かってどんなことをゴルフ業界ないし世の中へ発信していくべきか議論していて、『所ジョージさんの世田谷ベースのような「GDOベース」を作りたい』とか、『アウトドア総合メーカーの(株)スノーピークが、新潟県三条市にある本社の横にキャンプ場があり、そこで株主を集めての事業説明会やお客様感謝イベントを行っている。ゴルフの会社がゴルフ場の横にあり、そこからメッセージを発信していくのがいいのではないか』といった意見で盛り上がりつつあるタイミ



伊藤修武茅ヶ崎事業準備室室長

ングで、茅ヶ崎ゴルフ場活用事業の事業者募集を知りました。茅ヶ崎ゴルフ倶楽部は9ホールで、湘南・茅ヶ崎に所在している「GDOベース」にもってこいではということ、事業者として名乗りを挙げるべく動き出しました」と、茅ヶ崎ゴルフ倶楽部の責任者である伊藤修武（おさむ）同社顧問・茅ヶ崎事業準備室室長は語る。

その当時は、アメリカでプレー9（9ホールプレー）、9アンドダイン（9ホールプレーした後、食事をする）といった18ホールプレーに拘らないゴルフを提唱し始めた頃であり、「ゴルフをもっと自由にいろんな形で開放していこう」というGDOの創業理念に沿うものでもあった。まさに好機到来ではあったが、例え9ホールであってもゴルフ場運営を行ったこ

とのない企業が単独で行えるものではないことを痛感し、事業者募集に応募しかけたところで断念、GDOベースの夢は潰れてしまう。

ところが、第一回の事業者募集で優先交渉権者として選定された東京急行電鉄㈱・㈱電通グループが途中で辞退したことで、一度は諦めかけたGDOベースが再燃。さらに、或る出会いによって、単なる願望から実現に向けた大きな一歩を踏み出した。

「石坂（GDO社長）が亀井工業社長（亀井信幸氏）と知り合いになり、亀井工業も茅ヶ崎ゴルフ場の利活用事業に応募しようとしていたことがわかったのです。亀井社長は茅ヶ崎商工会議所の会頭を務めるいわば地元の名士であり、亀井工業は20数年前に火事で全焼した当コースのクラブハウス跡地に現在のクラブハウスを施工し、隣接地にはマンションを建設するなど、ゴルフ場周辺への思い入れが強い。そこで一緒にやりましようとなり、第二回の事業者募集の応募に繋がりました」（伊藤室長）

第二回の事業者募集では、GDOと亀井工業ホールディングス㈱、さらに特定非営利活動法人・湘南

ベルマールレスポーツクラブが加わった3者グループが利活用事業を提案、2019（令和元）年9月に厳正な審査を経て優先交渉権者として選定され、同年10月に地主と事業者との間で基本協定書を締結した。

提案した事業の詳細は割愛するが、3者の役割としては、GDOはゴルフ場運営、亀井工業ホールディングスは同GCCクラブハウスから西側エリアを再開発、湘南ベルマールレスポーツクラブは再開発された建物やゴルフ場の敷地を使って市民及び子供に健康増進事業を行う。3者が連携することで、単独で行う事業では生まれないコストメリットと増収効果が見込める、高い地代を何とか払うことができるのだという。

なお、神奈川県は茅ヶ崎ゴルフ場利活用について新型コロナウィルス感染症による事業実現困難を理由に、今年8月31日をもって事業を中止し、地主と事業者が基本協定書を解除することに合意したと発表した。県では当面の間、ゴルフ場として貸付けする方向で検討しており、検討期間の暫定対応として、GDOとの間で9月1日

から2021年3月31日までを契約期間とした賃貸借契約を締結している。

**メインは9ホールプレー
ドレスコード一切なし**

同GCCは、前運営まで会員制だったが、会員契約はすでに解消されており、現在は完全パブリック運営。カジュアルでフレキシブルにするには十分な環境なのだ。

プレーについてみると、これが非常にシンプルで、「9ホールプレー」をメインに営業し特段の集客対策は行っていない。

プレー当日、車や電車・バス、歩きで来場し、自分でゴルフバッグをスタートハウス前まで担いで手引きカートに積む。そして、クラブハウス内のフロントでプレー料金を前精算する。料金は消費税、ゴルフ場利用税込みで平日5900円、休日7600円。プレーは完全セルフ。9ホールをラウンドした後、もう9ホール回りたければ追加料金を支払う。回り放題も受け付けている。

精算は、現金、クレジットカードのほか交通系ICやウェアラブル端末、PayPayなどの決済も

可能という。1万円以内だとクレジット決済よりも電子マネーでの決済が多いのと、精算するたびにお金やクレジットカードを財布から出す手間が省けるため、来場者からは好評のようだ。

それからドレスコードが一切ない。「実際にTシャツとジーンズでプレーされる方もいます。茅ヶ崎という土地柄かビーチサンダルで来場されるゴルフアームも多いです。当コースは予約を当日午後1時まで受け付けていて、例えば急に時間が空いた時など、ジャケットや襟のあるシャツを用意してだと大変になってしまうので、普段着でもOKとしています。格式があり厳然たるドレスコードのあるゴルフ場、競技指向の高いゴルフ場、カジュアルなゴルフ場、いろんなゴルフ場が共存することはよいことですが、カジュアルなゴルフ場が少ないような気がします。GD Oではカジュアルなゴルフ場を広めるべくチャレンジし、当コースからメッセージを発信していきたいですね」(伊藤室長)

食事に關しては、レストランの営業はしないが、ランチ時にクラブハウス前に茅ヶ崎市内の飲食店

のキッチンカーが出店し食べ物を販売、クラブハウス2階の休憩スペースで食べてもらうスタイル。ゴルフアームだけでなく近隣住民も買いに来て好評という。茅ヶ崎市の四大まつり(大岡越前祭り、湘南祭、浜降祭、サザンビーチちがさき花火大会)をはじめとするイベントに出店するために茅ヶ崎市内の飲食店がキッチンカーを持っていることに着目、キッチンカーをゴルフ場に出店してもらうアイデアが生まれ、かたや飲食店ではコロナ禍で飲食店の営業が厳しい中で売上を確保できるとして、トントントン拍子に話が進んだそうだ。



キッチンカーでランチ販売

ロコチケットのホームページより



茅ヶ崎では、市の方針にロコチケットを掲げ、個人商店を大事にしようと努めており、コロナ禍で茅ヶ崎市内中小企業・小規模事業者の支援、および市内経済の早期回復

と活性化を目的に、市内で使用可能なプレミアムが付いた商品券「ロコチケット」(1冊1万円)で1万3000円分使用可)を市民に販売。同GCでも使用できるような加盟登録している。

キッチンカーを出店したりロコチケットに加盟登録するのは、同GCがゴルフアームのものだけでなく、市民や商店のためのものでもあるという意思表示だ。カジュアルでフレキシブルなゴルフ場を目指すのも、こうした意思が原点になっている。

1バッグ保証、はじめての競技ゴルフ

9ホールプレーをメインに運営しているが、いろいろユニークな企画を考えている。

一つは「1バッグ保証」。昨今1人プレー予約が主流になつてきているが、この「1バッグ保証」は1人でラウンドでき、かつ、2球ずつ打てるというものだ。

「ゴルフのプレー予約は、オンラインで簡単に取れるようになったため、直前化傾向が顕著になり、1組あたりのバッグ数が、直前の予約になればなるほど仲間を集めるのが大変になり減ってきているのが現状です。別の言い方をすれば、仲間が集まらずに直前になつてゴルフを諦める人も相当数いると思われるわけで、そうした人たちのゴルフをする機会を提供するためにも早く行いたい企画です。新型コロナがいつ収束するかわからず、リモートワークが主流となつていけば、1バッグ保証も大切なゴルフ場予約の選択肢になつていくでしょう」(伊藤室長)

もう一つは、「知る! 見る! 体験する! はじめての競技ゴルフ」



ゴルフ歴関係なく競技ゴルフ未経験者大歓迎

「フ」だ。この企画は、ゴルフが上手くなってきたので競技会に出たい、競技会に出たいがなんだか難しそうだ、などといったゴルファーを対象に、競技会ならではの作法などを教えるもので、11月20日と12月16日に開催する（定員各24名、参加費3300円、プレー代及び昼食代別途必要）。午前中にクラブハウス内で競技ゴルフにおけるルールやマナーをレクチャーし、昼食を挟んだ後、コースで実地講習と9ホールラウンドを行う内容となっている。

「当コースに来場された中に、9ホールのコースだからドライバーで打てるホールがいくつかわからないだろうと思っていた方が結構多い」と話している。

クラブハウス前の車寄せを、サーフボードを抱えたサーファーが海に向かって歩いている。7番ホールのティイングエリアとフェアウェイの間が一般道路になっている。自転車や軽トラックが普通に往來している。これが、茅ヶ崎ゴルフ倶楽部の日常風景。これほどまでに住民と密接に関係したゴルフ場はあるだろうか。こうした環

の営業が終わった後に、市民にドッグランやランニングの場として開放したり、3番ホールに隣接する浜須賀小学校の生徒を対象にゴルフ場を知ってもらうイベント開催などを予定している。

* * *

その他にも、コースが広域避難場所となっていることから、ゴルフ場の



7番ホールを一般道路が横断

境も、カジユアルでフレキシブルなゴルフ場を目指すには絶好である。それは大変満足なのですが、運営していくにあたり、一つジレンマがあります。GDOが打ち出すカジユアルでフレキシブルな運営スタイルと、コースの難易度がうまくシンクロしていないのです。名設計家の上田氏による深いバンカーと戦略性の高さは、ゴルフ愛好家には評判が高いのですが、バンカーのメンテナンスが大変ですし、カジユアルにゴルフをプレーしたい人には小さな2グリーンとともにプレー進行が遅くなってしまう原因にもなっています。上田

氏の設計思想はそのままに、カジユアルでフレキシブルなゴルフを楽しむようなうまい方法をこれから模索しないといけません。そして、今は暫定的な運営ですが、将来的には精算からコース管理（NPO法人・湘南ベルマーレスポーツクラブの母体、湘南造園（株）が担当）などゴルフ場運営の「IT化」も進めたいと考えています。当コースで得たノウハウを、GDOと取引いただいているゴルフ場に提案できるように、いろいろなチャレンジしながら運営に力を入れていきたいです」（伊藤室長）

GDOのゴルフ場運営は、始まったばかりである。